

1

仕事を定年退職した田中は、米山が講師を務める社交ダンススタジオに通っている。スタジオには、商社マンの川端、工場オーナーの大塚など、中年世代の男性が所属している。練習に打ち込む田中たちは、大会に出場することにになった。次は、大会当日、遅れていた大塚が到着し、米山が話し始める場面である。これを読んで、

①～⑥に答えなさい。

注意① 解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい。

注意② 字数が指定されている設問では、「」や「。」も一ます使いなさい。

受験番号

算用数字

米山が口を開いた。「全員揃いましたね。それでは僕から少し。他の出場チームのダンスを見た人もいるでしょう。そのレベルの高さを見て、不安になっている人もいるかもしれません。競技会では難しいステップの完成度や、同調性やスピードを競います。ですが、それだけではないと僕は思っています。社交ダンスでは個々の審査員に、審判の裁量が任されています。それにステップの一つひとつに基礎点があるような競技ではありません。つまり、審査員によって見ているポイントは違うということです。だから僕たちにもチャンスがあるんです。僕たちは魅せるダンスで戦うんです。皆さんには若いダンサーたちにはない魅力があります。これまでの人生経験がその肉体に刻まれています。そうしたものは滲み出まです。だから腕をすつとあげる動き一つでも、若いダンサーでは表現できないものを宿すことができるのです。③気後れする必要はありません。自信をもって踊ってください」

米山の言葉は田中の心にすうつと入った。

仲間たちも同じ感覚なのか、心配と緊張で硬かった表情が少し和らいだように見えた。

米山が続ける。「陣形を取る時の目印になって貰うために、客席に座るようお願いした人の特徴と位置を確認しましょう。中央には僕がいます。右は？」

田中は手を挙げる。「妻が和服姿で座っています」

「左は？」と米山が尋ねた。

大塚が手を挙げて「俺と同じ年の男が、白いキャップを被っています」と答えた。

米山が皆を見回してから言った。「今の聞きましたね。陣形を取る時の目印はフロアの中では川端さん。客席では中央が僕。右が和服の女性。左が白いキャップの男性です。さあ、それでは行きましょう。失敗しても、振りを間違えても構いません。それも味です。大事な間は間違えた時に慌てないことです。こういう時に楽しきましょうと声掛けする人もいるんですけど、僕は言いません。楽しいのは簡単なことではありません。緊張するのが普通ですから。皆さんに僕からお願いしたいのは一つだけです。審査員とお客さんたちに、僕たちの踊りを魅せ付けて来てください」

田中はしっかりと頷いた。そして周りの仲間たちとも頷き合った。

叶が言った。「隊長、ここは円陣を組んでフアイト、オーツァーの、するとこちらじゃないんですか？」

「あ、そうですね」と田中が答えた時だった。

「ビギナーズメンの皆さん、移動開始してください」とスタッフから声が掛かった。

更に「急いでください」とも言われ、あたふたと控え室を出る。「円陣なかよ」といった声も聞かれたが、「そういうのしなくても、一つにまとまってるんだからいいじゃない」とフオーする仲間のコメントもあった。

田中たちが移動したのはダンスフロアの奥で、パーテーションに囲まれた場所だった。

(中略)

楽屋とはまったく違う、ピリピリとした空気も流れ込んでいる。緊張を孕んだ気配に呑まれたのか、ビギナーズメンたちは一様に表情を硬くした。

田中は川端に近付いて小声で尋ねる。「大丈夫ですか？」

川端はしっかりと頷いた。

ぐつときた。大丈夫じゃないはずなのに大丈夫だと頷く川端の気持ちに、田中の心は激しく揺さぶられた。今日は心が動かされてばかりだ。④米山があなたたちではなく、僕たちと言った時鼻の奥がつかれた。出場できるか否かの結果待ちの時にはドキドキさせられたし、大塚が間に合うかハラハラもさせられた。だが私が

⑤動揺した様子を見れば、皆が更に不安になるだろうと思つて、落ち着いて見えるように装った。それで良かったのだろうか。正

直今も怖気づいている。だがそれも必死で⑥隠そうとしている。さつき他のチームのダンスを見たら物凄く上手かった。私たちはただ赤っ恥を掻くだけじゃないのか？ いや、ここまできたら米山の言葉を信じるだけだ。⑦魅せるダンスをしよう。皆それぞれに一杯生きてきた。その人生経験が味となるのなら、深いコクのあるダンスになるはずだ。そうだ。落ち着け。足が震えているのは武者震いだ。怯えているせいじゃない。

音楽が消えた。すぐに大きな拍手が聞こえてきた。

(中略)

田中は皆に言った。「魅せ付けてやりましょう」

出典 桂望実『たそがれダンサーズ』

(注) 陣形を取る：選手のパフォーマンス。ここでは決められた立ち位置に着くこと。

叶：川端と同じ商社の社員。

ビギナーズメン：田中達のチーム名。

川端はしっかりと頷いた：川端はけがをしていることを秘密にしている。

① ーの部分③・④の漢字の読みを書きなさい。

② 「⑧気後れする…：踊ってください」とあるが、このことばの様子を表す四字熟語として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 巧言令色 イ 周章狼狽 ウ 泰然自若 エ 付和雷同

③ 講師の米山は大会中のミスに対してどのように考えていますか。それについて説明した次の文の に入るのに適当なことばを、二十字以内で書きなさい。

たとえ ことが大事である。

④ 「⑨米山があなたたちではなく、僕たちと言った時も鼻の奥がつかれた」とあるが、「田中」がこのように感じた理由を説明したものと最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア どんないことがあっても自分たちを優勝させるといふ目標を諦めない米山の、ダンスへの姿勢に敬意を抱いたから。

イ 一人であるかのように言ってくれたことがうれしかったから。

ウ ダンスを上手く踊れなかった場合、責任の大半が自分にあるかのように言う米山の責任感の強さに驚いたから。

エ 心配と緊張で硬くなっている自分たちに、米山が客席に僕がいるから大丈夫だと言ってくれたことが心強かったから。

⑤ 「⑩魅せるダンスをしよう」とあるが、それがどのようなことかを説明した次の文の X、Y に入れるのに適当なことばを、X は五字で文章中から抜き出して書き、Y は「肉体」「コク」ということばを使って、三十字以内で書きなさい。

それぞれに X が委ねられている審査員や、お客さんたちに、Y ダンスを魅せ付けること。

⑥ この文章の表現の特徴について説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「お願いしたいのは一つだけです」という表現は、出番の前に余裕のない生徒たちを思いやると同時に、この程度のこと

はできてほしいという米山の生徒への要望が込められている。

イ 「あ、そうですね」という表現は、叶の発言が田中にとつて予想外のものであったことや、このダンスチームの付き合

いが浅く、関係性があまりよくない様子を印象づけている。

ウ 「小声で尋ねる」という表現は、メンバーの中でも一人だけ表情を硬くする川端を気遣い、川端に皆の注意が向かないよ

うに声をかける田中の細やかな性格を暗示している。

エ 「魅せ付けてやりましょう」という表現は、仲間の気持ちを鼓舞するとともに、怖気づく自分に気合いを入れ、奮い立たせようとする田中の様子を表している。

令和五年度 岡山学芸館高等学校 選抜一期入試【二月二十六日】 問題（国語）

2

次の文章は、「失敗学」の提唱者、畑村洋太郎（はたむらやうたろう）が書いた文章である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

人間は同じことを繰り返すとすぐに飽きてしま（あ）います。「三日坊主」という言葉があるように、たいていは「三日」もするとそのものへの関心が薄れてきます。自分が経験した失敗のように手痛い思いをしたときには、対象に対する意識はもう少し長続きします。それでも「三カ月」もするとかなりのことを忘れることができると、ひどく辛い体験をしたときでさえ「三年」くらいすると、だんだんとそのときのことを忘れていくようになります。

こうした記憶の減衰は、個人だけでなく組織や社会でも起こります。組織や社会は、ある一定のルールに従って活動の記録を保存しているのです、さすがに個人より記憶は長続きします。それでも「三〇年」ないし「六〇年」くらいすると、過去に経験した大きな事故やトラブルも含めてたいいていのことは忘れられていきます。これは活動している人間の中の記憶の減衰と同時に、人の入れ替わりによる記憶の減衰が起こるからです。

その期間が組織ならだいたい「三〇年」、社会なら「六〇年」といったところです。社会の記憶の減衰のサイクルが組織より長いのは、人の入れ替えのサイクルそのものが長いからです。それでも人間には寿命があるので、人の入れ替わりの中で六〇年もするとある一つの記憶が消えていくようです。

いまのは⑥人間の記憶の話ですが、じつは文書にしたり文化にないているものでも減衰が起こります。意識して残そうとしていないものは、だいたい「三〇〇年」もすると消えていきます。事実としてあったことは誰でも少し調べればわかりそうなものですが、世の中ではそういうものでも基本的に「なかったこと」として扱われるのです。

たとえば富士山の最後の噴火は一七〇七年なので、これはだいたい三〇〇年前になります。いまは自然災害があちこちで起こっているのに、災害対策に関心が高く、富士山の噴火をちゃんと想定してハザードマップをつくったりしています。しかしそうした動きは富士山の周辺に限ったもので、よその地域にまでは広がっていません。日本全体としてはむしろ、富士山噴火を現実起こると考えずに動いているのが現実です。

そしてさらに時間が経（た）って、「二二〇〇年」もするともはや社会の中で完全に「なかったこと」になります。東日本大震災の直後は、二二〇〇年前の貞観地震（八六九年）のことが話題になりました。文書として残っていたから比較されましたが、震災の前は貞観地震のことは一般の人にももちろん、地震の⑥センモン家の人たちの頭の中からもほぼ消えていました。もしも記録として残っていなかったり、一切の研究が行われていなかったら、私たちは貞観地震のことを知らないままで、東日本大震災を日本人がはじめて経験する未曾有の震災として受け止めることになったでしょう。これが記憶の減衰の現実なのです。

ここまでマイナス面の話をしてきましたが、最初に述べたように記憶の減衰にはプラスの面もあります。それは時間が経（つ）中で、人々を後ろ向きな動き方しかできないようにしているような、不必要な記憶もまた消えていくことです。たとえば本書の中で困った問題として触れている、私たちが引きずられている過去の成功体験の記憶なども、時間が経（た）てばやがて自然に消えていくでしょう。

社会の文化もまた移ろうものです。文化は同じ時代を生きている人たちの記憶の集まりでつくられているという言い方もできますでしょう。それは人の入れ替わりが起こると変わっていきます。そのことをどう評価するかは人それぞれでしょう。変わってほしくないものが変わっていくことに寂しさを覚える人もいるし、人の考えや行動を制約しているものが薄れていくことを喜ぶ人もいます。

概して言えるのは、高齢の人は従来の文化が変わっていくのを嫌がるし、若い人は逆に自分たちを縛り付けている文化が変わっていくことに喜びを感じる傾向があるということです。これは実際に受けている制約や、安定と自由度のどちらを優先するかといった望んでいるものの違いによつて感じ方が異なります。

これはどちらがいいとかということではなく、人間の④イトナみの中でふつうに起こることとして受け入れるしかありません。活

動している人の世代の入れ替わりが起これば、それに伴つてすべてが変化していくのも当たり前のことです。⑥時間の経過とともに社会の文化も徐々に変わっていきます。そういうことを前提にして、私たちの行動を後ろ向きにする足かせになるようなものはさつさと捨てつつ、一方で大失敗を回避するための知恵のような私たちの社会に利益を与えてくれる大切なものは、ちゃんと受け継いでいくことが大事ではないでしょうか。

出典 畑村洋太郎『新失敗学 正解をつくる技術』
（注）貞観地震：歴史書『日本三代実録』に記録されている。

① ———の部分③・④を漢字に直して楷書で書きなさい。

② 「（あ）ます」と品詞が同じものは、ア～カのうちではどれですか。当てはまるものを二つ答えなさい。

雨（ア）が（イ）にも（ウ）降り（エ）そうなので、（オ）走つて帰つ（カ）た。

③ 「（ろ）人間の記憶」とあるが、これに対する筆者の説明として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 人間の記憶は薄れやすいが、人を前向きな行動に導かないような、不要な記憶なども、時間が経（た）てば自然と消えていくので、よい面もある。

イ 人間には寿命というものがあるので、社会の記憶も、個人の記憶や組織の記憶と同じように、六〇年の単位で完全に消滅してしまう。

ウ 人間の記憶の欠落を補うものには文書等による記録という手段があるが、これは、記憶と違って永久に残るので、人間社会には不可欠なものである。

エ 人間は同じことの繰り返しにすぐ飽きてしまうため、活動の記録を保存する行為も長続きせず、事実としてあったこと以外は「なかったこと」として扱われる。

④ 「（ろ）時間の経過とともに社会の文化も徐々に変わっていきます」とあるが、その理由について説明した次の文の□□に入れるのに適当なことを、「記憶」「世代」ということばを使って、十字以内で書きなさい。
社会の文化は、同時代を生きている人びとの□□に伴つて変化していくものだから。

⑤ この文章を通しての筆者の考えを説明した次の文の□□、□□（Ｙ）に入れるのに適当なことを、□□（Ｙ）は十三字、□□（Ｙ）は三字で文章から抜き出して書きなさい。

すべてのものは変わっていくものだと（Ｙ）いうことを前提に、社会に利益を与えてくれる、□□（Ｙ）のようなものは受け継ぎ、行動の□□（Ｙ）となるようなものは取り除くことが大切である。

⑥ 本文の内容を説明したものとして最も適当なのは、（ア）～（エ）のうちではどれですか。一つ答えなさい。

（ア） 自然災害が多い昨今、人々の災害対策への関心も高く、富士山噴火に対しては日本全体で対策を行っている。

（イ） 対象への意識は徐々に薄れていくものだが、自分の失敗体験のような手痛いできごとの方がまだ記憶に残りやすい。

（ウ） 東日本大震災の直後、貞観地震が話題になったのは、文書として残り、多くの研究が続けられていたからである。

（エ） 過去の記憶は、個人では「三年」、文化になっていて残そうという意識があるものでも「三〇〇年」もすると消えていく。

3

次の文章は、俳人、小林一茶について書かれた文章である。これを読んで、①～④に答えなさい。

受験番号

算用数字

苦難つづきの人生である。しかし「子ども向け」「ひねくれ者」という世間の評判は一茶に対する正当な評価なのか。

視点を変えれば、「子ども向け」とは子どもにもわかる、いいかえれば誰にでもわかるということである。なぜなら一茶の句はすべて日常の言葉で書かれているからである。「ひねくれ者」とは人間の心理がありありと表現されているということにほかならない。古典主義の時代の芭蕉や蕪村の俳句には『源氏物語』や西行の歌をはじめ王朝、中世の古典文学がちりばめられているので、古典を学んだ人でなければわからない。また心理描写も古典文学の型を踏まえていた。これに対して一茶の句は日常のふつうの言葉で書かれ、生身の人間の心を描き出す。

日常語の使用と個人の心理描写。この二つは近代文学の条件でもある。一茶の俳句はそれを備えている。いいかえれば一茶の俳句は芭蕉や蕪村の古典主義俳句を脱して、すでに近代俳句だったということだろう。

そればかりではない。弟を相手にした相続争いにかがえるとおり一茶の考え方はすでに近代人のものだった。

おらが世やそこの草も餅になる

おらが世は白の餅ぞ夜の雪
目出度さもちう位也おらが春

一茶は自分を中心に考える一人の利己的な近代市民だった。一茶がしばしば使った「おらが春」という言葉は何よりもそれを象徴している。「おらが春」の「おら」は「おのれ」であり、公を表わす「世」に対する言葉である。一茶にとっては「世の春」などより「おらが春」を謳歌することこそ大事だったのだ。

貴族や武士が少なくとも表向きは公の人であったのに対して、市民は自分と家族のことだけを考えていればいい私人である。この無数の市民のわがままな欲望が集まって、アダム・スミスの言葉を借りれば「見えざる手」の導きによって社会は繁栄へ向かうというのが近代市民社会を支える基本的な考え方である。

一茶の自分中心の考え方はこの近代市民の考え方にほかならない。古典主義時代の芭蕉や蕪村とは明らかに異なる俳人がここに出現していた。日本の近代は明治からと思われているが、一茶が生きた江戸時代半ば、古典主義時代が終わって新しい近代がすでに始まっていた。そして一茶は最初の近代俳人だった。

江戸時代という時代区分に邪魔されて、一茶の生きた時代と一茶の実像を見誤ってきたのではないか。

一口に江戸時代といっても前半と後半で大いに異なる。第二章でみたように前半は長い内乱によって滅びかけた王朝、中世の古典復興（ルネサンス）をめざす古典主義の時代だった。文化の担い手も古典を学んだ教養人たちだった。

ところが天明の大飢饉（一七八二―一八八）の直後に訪れた十一代将軍徳川家斉の治世、五十年近くつづいた大御所時代（一七八七―一八四一）から様相が一変する。幕府財政はすでに傾いているのに家斉の「贅沢な生活」という財政緩和によって貨幣経済が江戸、大坂、京などの大都市ばかりでなく農村にまで浸透し、それによって大衆社会が出現する。

（中略）

古典主義時代、俳句をするのは古典の知識のある教養人たちだったが、近代大衆社会が出現すると、古典を知らない人々も俳句をするようになる。そうなると芭蕉のように古典を踏まえた俳句はもはや通用しなくなり、日常の言葉で俳句も詠まれるようになる。

この時代の要請にもっともよく応えたのが一茶だった。一茶は北信濃の農家の生まれ、古典文学とは初めから無縁の人だった。だからこそ大衆文化時代の、いわば新しい型の俳人となることのできた。皮肉なことに古典文学の教養の欠落が幸運にも新しい時代が求める資質となったのである。

出典 長谷川權『俳句の誕生』

（注）アダム・スミス：イギリスの哲学、経済学者（一七二三―一七九〇）。「見えざる手」は、著書『国富論』に現れる言葉。

大御所時代：十一代将軍徳川家斉の治世のこと。隠居して大御所になってからも実権を握り続けたためこのように呼ばれる。

北信濃：長野県北部。

① 「おらが世やそこの草も餅になる」の俳句の季語は「草餅（草も餅になる）」で季節は春ですが、同じ季節を詠んだ俳句として最も適当なのは、ア～エの一茶の俳句のうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 初時雨夕飯買に出たりけり
- イ 目出度さはことしの蚊にも喰れけり
- ウ けふからは日本の雁ぞ楽に寝よ
- エ 雪どけや麓の里の山祭

② 芭蕉・蕪村・一茶の句作の違いについて説明した次の文の

- X、Y に入れるのに適当なことを、文章中から
- X は七字、Y は九字で抜き出して書きなさい。なお、二カ所の X には同じことばが入ります。

芭蕉や蕪村には X があり、それを踏まえて俳句を作ったが、一茶は、X がなく、Y 近代市民の視点から俳句を作った。

③ 一茶について説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 江戸幕府に対する反発的態度から、「ひねくれ者」という誤った評価をされていた人物である。

イ 大衆社会が現れた時代に生き、その時代の要請に応えるような資質をもっていた人物である。

ウ 「世の春」より「おらが春」を大切にする、世の中のことに興味のない、悟った人物である。

エ 武士のみが行っていた文学活動を、庶民も行うことができるように力を尽くした人物である。

④ 中学三年生の浩子さんは、この文章を読んで次のような感想文を書いた。I、II に入れるのに適当なことばを、七字で抜き出して書きなさい。

筆者は、一茶の作品は、近代文学の二つの条件を兼ね備えていると主張しています。なぜなら、一茶の句は、I を描き出したものだからです。また、一茶の句は世間から「子ども向け」などと言われることがあるようですが、それは II 俳句だからだとも主張しています。この文章を読んで、一茶の句が、現代に生きる私にも共感できる理由がわかる気がしました。

4 四人の中学生が、サステナブルな観光をテーマとするグループ学習で、【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】をもとに話し合いをした。次の【四人の中学生の話し合い】を読んで、①～④に答えなさい。

【四人の中学生の話し合い】

美和 今日サステナブルな観光について話し合うよ。地域の文化や自然環境、住民の暮らしを守りながら、それを活かした観光をつくっていかうとする試みのことだよ。

恵太 【資料Ⅰ】は、この中学校があるA県に旅行に来た人にアンケート調査をした結果の上位回答をまとめたものだよ。この【資料Ⅰ】を見ると、**X**ことがわかるよ。そこから考えると、昔からその土地にあるものを目当てに来る人が多いみたいだね。

和也 新しいものはA県でなくてもあるからかな。続いて【資料Ⅱ】を見て。サステナブルな観光の課題が書かれているよ。自然や文化財が壊れてしまうと、観光も成り立たないから、自然環境や文化財の保全は必要不可欠の課題だね。

恵太 富士山でも登山客によるごみのポイ捨てや、し尿の問題などが取りざたされていたね。

美和 うん。自然や文化財を観光に利用するためには、保護すると同時に、歩道やトイレなどの観光設備を整えておくことも大切なんだね。

和也 そうだね。そして、そのための費用の一部を、訪れる人に無理なく負担してもらえる仕組みを作っていく必要があるね。うん。意図を理解して助けてもらえるといいね。それと、【資料Ⅱ】に「まちの活性化」ってあるけど、住んでいる人が減少、そして高齢化している地域では、観光を通して、地域とかかわりをもってくれる人が増えてほしい、という期待はあるよね。

美和 あると思う。このまちを好きになって、また来てほしい。関係性が増えると、住民が元気になるし、何度も来てくれたら経済効果もある。それにはやっぱり人の交流かな。

愛美 そうだね。地域の人と直接交流できる機会があれば、仲良くなつて、また気軽に会いに来てくれるかもしれないよね。地元の人や、地域の暮らしに触れたいというのは、外国の方にも多いかもしれないよ。

恵太 サステナブルな観光は、もともとその土地にあるものを活かして、地域の暮らしがこれからも続いていくように工夫していくことが大切なんだね。

美和 うん。観光客のためだけではなく、地域の暮らしも豊かになる観光、それを私たちが具体的に考えてグループの提案にするのはどう？ 【資料Ⅲ】を見て。課題解決へ向けた取り組み案をまとめてあるよ。【資料Ⅲ】の中で、私は**Y**がいいと思う。その取り組みは、**Z**

【資料Ⅰ】 A県への旅行の主な目的 (複数回答 単位:%)

	20代	30代	40代	50代	60代
自然鑑賞	20.5	21.0	21.5	23.9	26.8
町並み散策	38.2	43.7	42.2	53.6	51.4
歴史文化施設等の見学	17.1	19.6	25.5	33.3	38.2
郷土料理	23.3	19.8	10.0	14.3	17.7
温泉	9.9	13.1	17.6	20.7	24.1
スポーツ・レクリエーション	3.9	3.1	5.5	4.9	3.1

【資料Ⅱ】 サステナブル観光の課題

- ・自然環境の保護
- ・文化財・文化遺産の保全
- ・まちの活性化
- ・様々な人を受け入れるための体制づくり
- ・訪日外国人（インバウンド）への対応
- ・地場産業や伝統文化の継承

【資料Ⅲ】

課題解決へ向けた取り組み

- ア 地元住民による郷土料理屋台の出店
- イ 自然探索ツアーの実施
- ウ 空き家を宿泊施設に改築
- エ 地域の伝統的な祭りの再興
- オ 地元農家での農作業体験コースの実施

条件
1 二文に分けて書き、一文目にYで選んだ内容がどのような課題解決につながるのかを書くこと。
2 二文目に、それによってどのような効果があるかを書くこと。

- ① 「気軽」とあるが、この熟語の読み方は、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア 音読み＋音読み イ 訓読み＋音読み
ウ 音読み＋音読み エ 訓読み＋音読み
- ② 恵太さんの意見が論理的なものとなるために、**X**に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア 年代を問わず、A県への旅の目的として最も回答割合が多いのは町並み散策、次いで歴史文化施設等の見学である
イ どの年代においても、町並み散策を目的とした来訪者は三割以上、スポーツ等を目的とした来訪者は一割以下である
ウ 年代が上がるにつれ、A県への旅の来訪目的に温泉と回答した割合は増え、食と回答した割合は減少している
エ 来訪目的に自然鑑賞と回答した割合が最も高いのは60代以上、スポーツ等と回答した割合が最も高いのは30代である
- ③ 話し合いにおける四人の発言の特徴について説明したものとして適当なのは、ア～オのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。
ア 美和は、恵太の示した具体例を根拠に、課題解決の方向性を示して話をまとめ、次の項目へと話を移している。
イ 恵太は、資料について解説したり、複数の発言内容をまとめたりにして、話し合いを円滑にすすめている。
ウ 和也は、他の人の発言を聞き、同意を示した上でそのためには何が必要かを述べ、話し合いを先へとすすめている。
エ 愛美は、資料から読み取れることを説明した上で自分なりの解決策を示し、他の三人に感想を尋ねている。
オ 美和は、ここまでの発言を受け、一つの提案をしたのちに新たな資料を示し、話し合いを結論へと導いている。
- ④ 美和さんの発言の**Y**、**Z**に入れるのに適当な内容を、Yはあなたが関心のある項目を【資料Ⅲ】ア～オのうちから一つ選んで答え、Zは条件に従って六十文字以上八十文字以内で書きなさい。